

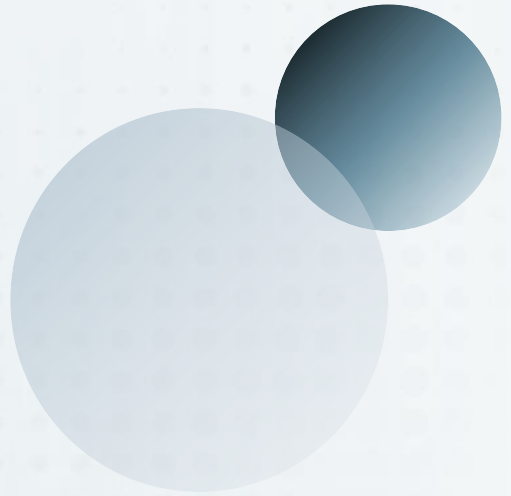


**KURABE**

# Sustainability Report

クラベサステナビリティレポート

**2026**



# 目次

会社概要	3
ご挨拶	4
クラブのCSR・環境活動	5、6
クラブCSR基本方針	7
品質管理方針	8、9
環境方針	10、11
購買方針	12
労働安全衛生方針	12
情報セキュリティ方針	13
コンプライアンス方針	13
人権方針	14、15
事業継続計画（BCP）	16
内部統制システム	17、18
次世代育成支援活動	19
2025年活動報告	21
お客様に対して	22、23
新製品情報・製品採用情報	24
物流ドライバーの熱中症対策	25
環境に対して	26、27
従業員に対して	28
地域社会に対して	29、30
仕入先に対して	31

# 会社概要

## 未来をセンシングするケミトロニクス

社名	株式会社クラベ
創業	1938/2/11
設立	1939/6/25
株主資本	439億円
資本金	7億8,000万円
役員	代表取締役社長 金澤 岳信 代表取締役常務 森本 慶洋 代表取締役常務 佐藤 明男 取締役 石山 友一 取締役 鈴木 聡 取締役 柴田 日出夫 監査役 池ヶ谷 典男 監査役 田畑 隆久 監査役 鈴木 敏弘
従業員数 (国内)	830名
従業員数 (海外)	4500名
決算	年1回12月
年商	465億円 (連結)
主力取引銀行	みずほ銀行浜松支店 三菱UFJ銀行浜松支店
工場 (国内)	篠原工場、浜北工場、 庄内工場、都田工場、都田北工場
(海外)	KIV (ホーチミン)、KIB (ハノイ) KIS (上海)、KIH (湖北) KMX (メキシコ) KIP (フィリピン)
営業所 (国内)	東日本、東海、富士、 名古屋、大阪、姫路、福岡
(海外)	KAC (アメリカ-デトロイト)、 KEG (ドイツ-デュッセルドルフ)、 KTG (中国-広州) KTH (中国-香港)

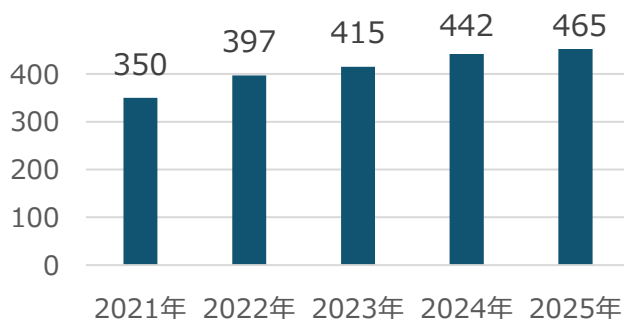


本社と国内5拠点



ベトナム2拠点、中国2拠点、  
メキシコ1拠点、フィリピン1拠点

連結売上高(億円)



主な製品群

TOP MESSAGE

## たゆまぬイノベーションを 高品質な製品として提供し続ける

創業以来、わたしたちが一貫して取り組んできたことです。

代表取締役社長

金澤 岳信



厳しい環境下でも電気機器を安全に使用するために欠かせない耐熱特殊電線。車載用など信頼性を重視する用途で安全にかつ最適に機能する発熱体。そして独自に進化をした材料技術を応用した絶縁材料や成型品、さらにニッチ商品の数々。

これらの分野において80年余、わたしたちの独創性を発揮し、社会の発展に貢献してまいりました。

人間社会の発展につれ電気は益々広い分野や用途に、そして様々な環境で使われるようになり、わたしたちが活躍できる分野は年々拡大してゆきます。

今後も「ケミトロニクス」の旗印の下、材料技術、電気技術、機械設計技術など、保有する複数の専門技術にさらに磨きをかけ、様々な業界の先頭を行く企業様との関係を深め、グローバル展開を進めてゆきます。

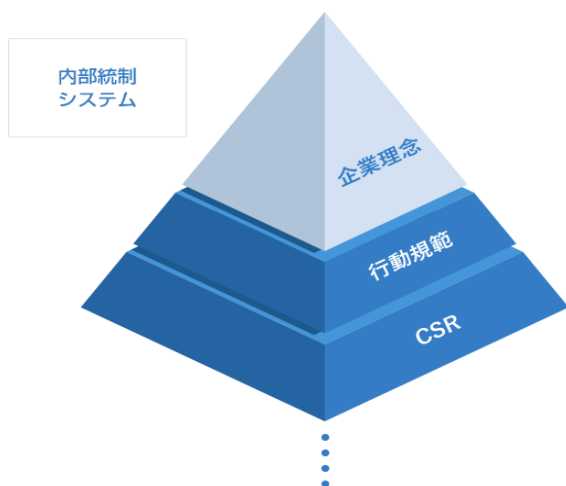
今後とも高品質で独創的な商品を送り出して行く所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

# クラブのCSR・環境活動

私たちクラブグループ社員は、1人ひとりが行動規範、CSR方針に基づいて企業理念実現のため、誠実に行動します。

企業理念実現の体系



人間社会の持続的発展

## 企業理念

### 綱領

1. 我々は我々の企業活動を通じて  
広く社会の文明に寄与しよう
2. 我々はあらゆる生活に目標と目的を定立し  
これに基づいて逞しく行動しよう
3. 我々は自己の心に愛と責任と自由を培い  
幸せな人間関係の創造に努めよう

### スローガン

わたしたちは、わくわくする未来社会のため、  
すべてのステークホルダーと公正な関係を築き、  
たゆまぬイノベーションを高品質な製品として提供し続けます。

# クラベのCSR・環境活動

## クラベグループ行動規範

1. 国内外、社内外を問わず、人権を尊重する。
2. 法律、社会規範、社内規則を遵守する。
3. 環境に配慮し、人間社会の持続的発展に寄与する事業活動、製品開発をする。
4. 社会的に有益かつ安全な製品・サービスを提供し、顧客の満足と信頼を獲得する。
5. 価値ある有形、無形資産、機密情報を適正に管理して事業活動に有効活用する。
6. 顧客、仕入先などの取引先と信頼関係を築き、相互繁栄に努める。
7. 海外への事業展開においては、国際ルールを守り、現地の文化、歴史を尊重し、国際社会に信頼される企業を目指す。
8. 従業員の多様性、個性を尊重し、不合理な差別やあらゆるハラスメントを廃し、安全で働きやすい職場の構築に努める。
9. 反社会的勢力と、断固として決別する。
10. 安定した雇用と良好な労使関係を通じ、地域社会の安全・発展に貢献する。
11. 収益の持続的拡大を図り、強固な企業基盤をつくる。

# クラベCSR基本方針

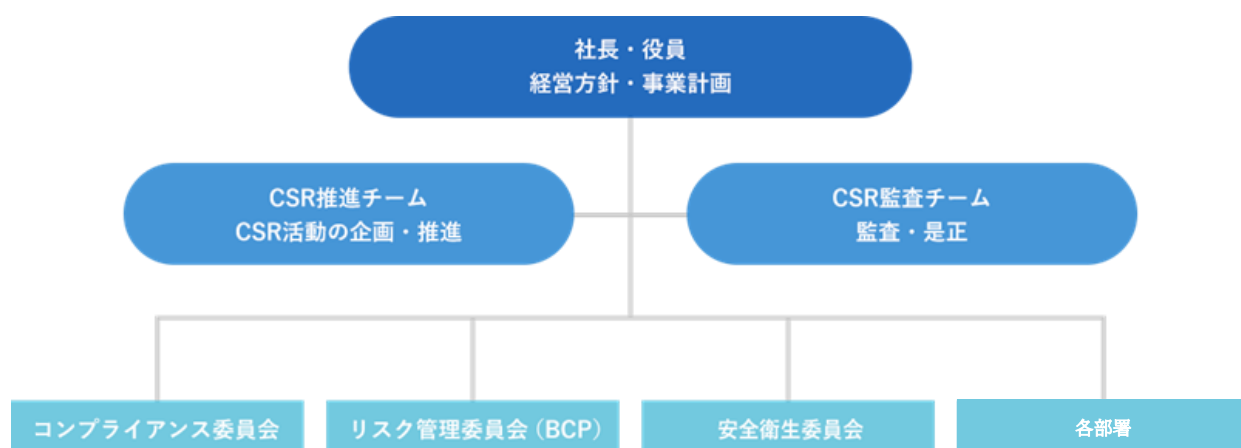
我々は法およびその精神を尊重し、社会的規範に従うとともに、社会からの期待に応え、企業活動を通じて持続可能な社会の構築に貢献します。

## 重点活動

- お客様に対して：イノベーションの提供
- サプライチェーンに対して：公正な取引の確保
- 社会・環境に対して：循環型社会の実現
- 従業員に対して：物心両面の幸福の追求
- 株主に対して：安定配当の実施



## CSR推進体制



# 品質管理方針

クラベグループは製品開発・ものづくり・販売を通じて、よい品質、をお届けするためのマネジメントシステムを確立し、PDCAサイクルを回すことによる継続的改善を図りながら、お客様の安心・満足につながる品質を提供し続ける活動を推進していきます。



## 品質向上の考え方

### 1. 製品安全性の確保

国際規格や各国法規制を遵守すると共に、事故の未然防止を見据えた十分な製品安全性を確保できる設計を行います。

### 2. 品質マネジメントシステム構築・運用

ものづくりを始めとして組織全般に渡る品質保証体制を構築・運用することでお客様の安心・満足につながる品質をお届けする体制を維持・発展させていきます。

### 3. お客様の声への取り組み

お客様から見た品質・納期・コストを始めとするクラベグループの提供に対するお客様より頂いた貴重なご意見・ご要望は経営トップを含む関係者で共有し、お客様の満足度向上につながるよう、改善活動を実施して、クラベグループとしての存在価値の向上を目指します。

### 4. 人材育成活動

よい品質をお届けするための体制作りの一環として、品質マネジメントシステムの運用を通じてOJTを主体とした人材育成を図り、品質マネジメントシステム運用の基盤強化、および従業員の自己啓発を図ります。又、クラベグループ内の海外拠点への赴任を通じて実践体験のみならず、異文化対応力や成果を出せる人材育成にも取り組んでいます。

### 5. QC（品質管理）サークル活動

よい品質実現の一環として職場での品質向上を図るために、自主改善活動であるQCサークル活動を行っています。また年1回開催される当社事業所選抜による事例発表会では、品質改善活動の成果発表を行い、表彰を通じて活動結果に対する評価やモチベーション向上を図っています。

# 品質管理方針

## 品質マネジメントシステム

### 国内拠点 (ISO9001)

拠点名	取得年月	認証機関	登録証番号
本社	1998年5月	BVC	21131336
篠原工場	2002年12月	BVC	
浜北工場	2002年12月	BVC	
庄内工場	2003年12月	BVC	
都田工場	2003年12月	BVC	
都田北工場	2021年8月	BVC	
富士、名古屋、姫路 (営業所)	2017年6月	BVC	
大阪、福岡、東海 (営業所)	2020年7月	BVC	
東日本 (営業所)	2025年7月	BVC	

### 海外生産拠点 (ISO9001)

拠点名	取得年月	認証機関	登録証番号
KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO.,LTD.	2006年8月	BVC	VN012176
KURABE INDUSTRIAL BACNINH CO.,LTD.	2013年7月	BVC	VN013623
上海倉部電子有限公司	2004年12月	BVC	CN053015
KURABE AMERICA CORPORATION	2022年1月	BVC	US020688

### 海外生産拠点 (IATF16949)

拠点名	取得年月	認証機関	登録証番号
KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO.,LTD.	2014年12月	BVC	VN012428
KURABE INDUSTRIAL BACNINH CO.,LTD.	2017年8月	BVC	VN012412
上海倉部電子有限公司	2022年12月	BVC	CN043147
湖北倉部電子有限公司	2025年1月	BVC	CN053988
KURABE MEXICO INDUSTRIAL, S.A.DE C.V.	2025年7月	BVC	MEX-23352

# 環境方針

クラベグループは部品・材料の調達から製品の使用・廃棄までの環境負荷低減、循環型社会の実現、地球環境の保護を目標に環境マネジメントシステムを運用しそのパフォーマンス向上を目指します。

当社の製品および事業活動における環境負荷低減のため次の事項に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出量の削減に省エネルギー、省資源に取り組み、カーボンニュートラルを目指します。
2. 廃棄物の排出を管理し、その削減、リサイクルにより資源の有効利用を図ります。
3. 製品および材料の有害化学物質管理を徹底します。
4. 製品のライフサイクルに配慮した設計開発に努めます。
5. 大気、水質、土壌の汚染および騒音の発生防止をし、地域環境保護に努めます。
6. 環境関連の法規制、当社が同意したその他の要求事項を順守します。本環境方針達成のため、すべての従業員で地域環境保護のため環境目標を設定し取り組み、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

## 環境への取り組み

取り組み課題：各工程での課題について、全社一丸となって環境負荷物質低減に取り組んでいます。

開発・設計	環境対応 / 省資源
▼	
調達	仕入先活動 / 化学物質管理
▼	
生産	省エネ / リサイクル
▼	
物流	廃棄物削減 / 輸送効率化
▼	
市場	法令順守 / リスク管理

## 環境マネジメントシステム (ISO14001)

### 国内拠点

拠点名	取得年月	認証機関	登録証番号
本社	2019年6月	JQA	JQA-EM1594
篠原工場	2020年8月	JQA	
浜北工場	2005年4月	JQA	
庄内工場	2005年4月	JQA	
都田工場	2005年4月	JQA	
都田北工場	2023年4月	JQA	

※クラベで2001年6月からISO14001の認証を取得しております。

# 環境方針

## 海外拠点

拠点名	取得年月	認証機関	登録証番号
KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO.,LTD.	2006年6月	SGS	VN21/00175
KURABE INDUSTRIAL BACNINH CO.,LTD.	2013年8月	BVC	VN.009335
上海倉部電子有限公司	2005年5月	BVC	CN053014
湖北倉部電子有限公司	2024年12月	ZSBC	08924E 32495ROM

## 活動内容

### 内部監査の実施と教育

全拠点において、ISO14001の運用、化学物質管理について、内部監査を実施しています。また、運用の理解を深めるために教育を実施しています。

### 環境調査（国内）

#### 1. 産業廃棄物処分場の確認

委託業者に対し適正な処理がされているか、実施確認を行っています。

#### 2. 仕入先実施監査

仕入先に対し、RoHS管理を含む化学物質管理や環境管理の仕組みについて監査をしています。

#### 3. 環境測定

大気、水質、騒音や振動に関する測定を定期的に行っています。

### 活動計画（国内）

実施項目	監視項目	目標値	関連法規
廃棄物の排出量削減	総排出量	-1%（前年比）	廃棄物処理法
プラスチック排出量削減	プラスチック排出量	-1%（前年比）	プラスチック資源循環促進法
温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量	-2%（前年比）	地球温暖化対策推進法
製品含有化学物質管理の徹底	有害化学物質含有削減	ゼロ	化審法 RoHS規制



# 購買方針

## 公正な取引

私たちは、自由な競争基盤の上で、合理的で最適な調達を行います。

## 健全な取引関係の構築

私たちは、取引先との信頼関係を大切に、相互発展を目指します。

## 法令の遵守

私たちは、取引を行う各国の関連する法令を遵守します。

## 適正な価格・品質と安定的な調達

調達にあたっては、購買先の評価基準を設け、価格・納期・品質・技術力・環境のほか、情報力や提案力、コミュニケーション力などを総合的に採点して判断して安定的に購買します。

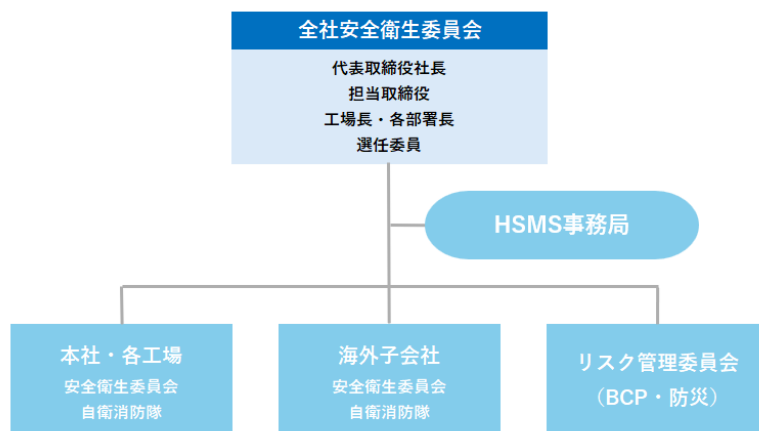
## CSR（企業の社会的責任）調達の推進

私たちは、環境や、人権など社会面に配慮した責任ある調達活動を行います。取引先に対してもCSR調達の順守を求めます。

# 労働安全衛生方針

全ての職場、全ての事業活動において、従業員の安全と健康の確保を最重要課題とし、安全で快適な職場環境の形成を促進していきます。

1. 代表取締役をトップとする全社安全衛生委員会活動を軸に、全ての拠点に安全衛生委員会を設置し、従業員との協議と参加を尊重した労働安全衛生の周知と教育、改善を継続的に推進します。
2. 設備や装置、使用する化学物質について、リスクアセスメントを実施し、リスクの低減に継続的に取り組みます。
3. 労働安全衛生法を始めとする労働関係法令を遵守した上で、自主基準を設け、より安全な職場環境を目指します。
4. 健康診断や産業医との連携により、従業員の健康管理を充実させます。
5. 障害者や高齢者にも働きやすい安全で快適な職場を目指します。



# 情報セキュリティ方針

会社が保有する情報は経営資源の一つであり、その情報セキュリティが重要であることを社員 1 人ひとりが認識し、これを適正に保護し、有効活用していきます。

1. お客様からお預かりした情報、当社のノウハウや知的財産、あらゆる経営上の機密情報、個人情報等を適切に保護し、管理する規則を定め遵守します。
2. 情報を取り扱う全社員に対し、情報セキュリティの重要性や具体的な行動規範について、規則や「情報セキュリティハンドブック」により教育を行っていきます。
3. 機密性、安全性の維持・向上のため、情報インフラの最新化を実施していきます。また、情報技術の高度化に対する最新のセキュリティ技術を研究し、適正に取り入れていきます。
4. 社内監査や情報セキュリティ委員会活動により、情報の安全性を確実にし、継続的な改善を図っていきます。
5. 万一、情報漏洩の事故が発生した場合、あるいは漏洩の可能性が発覚した場合には、被害を最小限に留めるとともに、再発防止策を講じます。

情報セキュリティ委員会

ISMS事務局

弊社では、ISO27001の認証に加えて、ドイツ自動車工業会が策定した情報セキュリティの審査基準であるTISAXの認証を2019年に機密情報を取り扱う一部の国内部署を対象に取得し、ENX協会が運営するポータルに当社TISAX認証ラベルが登録されました。また、2024年12月に2回目の更新を行いました。

# コンプライアンス方針

我々は、社会の一員として、法及びその精神を尊重し社会規範にしたがって行動し、国際社会から信頼される企業を目指します。

1. 全社員が法令等を遵守し、社会の一員として良識と責任ある行動をします。
2. 社員の行動規範を定め、法令、社内規則、就業規則等も合わせ、教育をしています。
3. 内部監査等で遵守状況をチェックし、問題を未然に防止します。
4. 万一、問題が発生した場合は、速やかに事態を收拾し、原因を明らかにして、再発防止策を講じます。

社内に内部通報の相談窓口を設置し問題の早期解決に努めています。

社外の方のご相談、ご意見は電話または郵送にて受け付けています。

(株)クラベ総務部 TEL053-447-7111

# 人権方針

## クラベグループ人権方針

私たちは事業活動を行う各国・地域に適用される法令を遵守し、「世界人権宣言」を含む国際章典、「労働における基本的原則及び権利に関するILO（国際労働機関）宣言」に表記されている人権を尊重、そして「ビジネスと人権に関する指導原則」、「国連グローバルコンパクトの10原則」を支持し、これらの原則に基づいて人権尊重に取り組みます。

1. 社内及びサプライチェーンにおける人権リスクを特定し、防止、軽減するため、人権デューデリジェンスの取り組みを進めていきます。サプライヤーに対しては「クラベグループCSR購買ガイドライン」に基づき人権の尊重を求めています。
2. 従業員や取引先、地域社会などのステークホルダーとの対話を通じて人権への理解と関心を高めるよう努めます。また、人権侵害や差別・ハラスメントなどの相談や苦情を受け付ける窓口を設置、対処する仕組みを構築していきます。
3. 当社の事業活動が人権への負の影響を引き起こしているあるいはサプライチェーンや取引関係を通じて人権侵害を助長していることが明らかになった場合は、適切な手続きを通じてその是正・救済に取り組んでいきます。
4. 従業員一人ひとりが本方針を正しく理解し実践できるよう、必要な教育及び能力開発を行っていきます。
5. 本方針の実施状況や成果について定期的に評価し、継続的な改善をしていきます。また活動内容について各種報告書やウェブサイト等を通して公表するよう進めていきます。

**事業活動に関わる主な人権課題として以下を考慮に入れます。**

### 強制的な労働の禁止

強制労働、人身売買を行わず、従業員をその自由意思において雇用し、また自由に離職できることを保証する。

### 児童労働の禁止、若年労働者への配慮

各国・地域の法令で定められた最低就労年齢に満たない児童を雇用しない。また18歳未満の従業員については、その発達を損なうような就労をさせない。

### 労働時間への配慮

各国・地域の法令で定められている限度を超えて労働させず、国際的な基準を考慮した上で労働時間・休日を適切に管理する。

# 人権方針

## 適切な賃金と手当

各国・地域の法令を遵守し、従業員により良い生活の為に労働条件の提供に努めるとともに、法定最低賃金以上を払い、不当な賃金減額を行わない。

## 非人道的な扱いの禁止

虐待、体罰、各種ハラスメント等の非人道的な扱いを行わず、従業員の人権を尊重する。

## 差別の禁止

人種、肌の色、年齢、性別、民族、国籍、宗教、妊娠等に関わらず、あらゆる雇用の場面においていかなる差別も禁止し、公平性、機会均等を実現する。また、従業員の個性、多様性を尊重し、それぞれの能力を発揮できる環境づくりを進める。

## 結社の自由、団体交渉権

各国・地域の法令に基づいて、労働環境や賃金水準等の労使間協議を実現する手段としての従業員の団結権を尊重する。

## 安全・健康な労働環境

従業員の安全と健康を最優先に、安心して働き続けられる職場環境を整備する。

## 地域社会、先住民の権利の尊重

地域社会の文化・歴史を理解し、安全や健康、環境への負の影響を防止するため、住民の権利を尊重した事業活動を行う。また先住民が存在する地域では国際的な取り決めに定められた先住民の権利を尊重する。



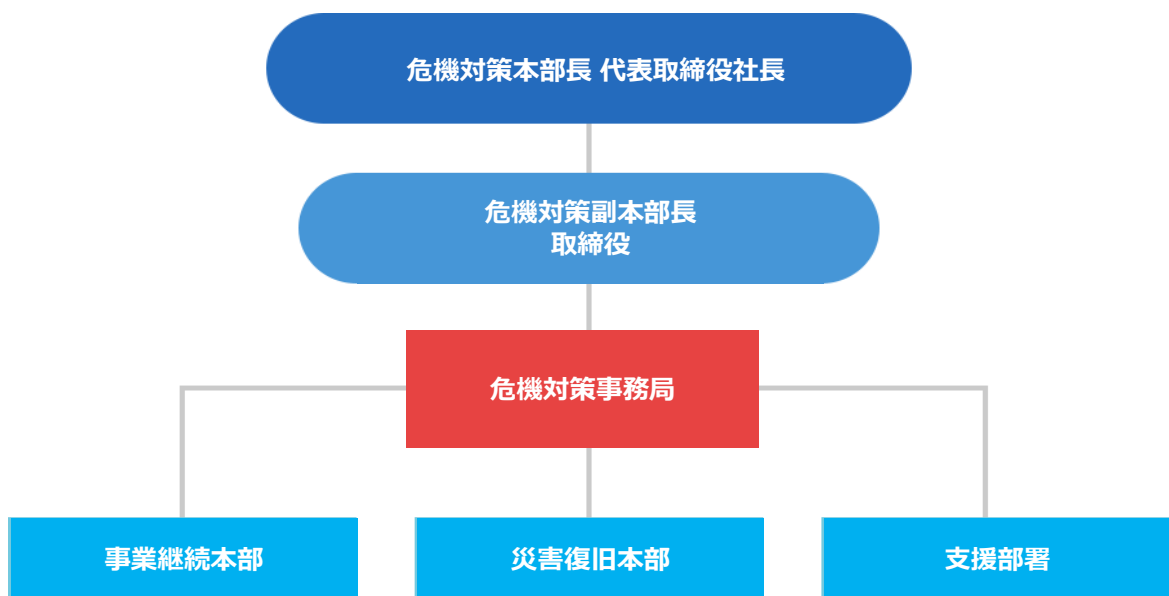
# 事業継続計画(BCP)

## 基本方針

国内及び海外拠点において、自然災害、不慮の事故、戦乱等における電気、水道等のユーティリティの供給停止、主要設備の故障、部品・原材料の納入停止、輸送機関の途絶や火災、地震、台風、洪水・冠水等による生産停止、感染症、その他による不測事態発生時に、従業員と家族及び訪問者の身の安全を守り、早期事業の再開をはかり雇用を維持して、事業機会の逸失と顧客離れを回避し、供給責任を果たし、顧客からの信用を守るための手順を定める。

## 組織図

不測事態対応組織の設置および解消は、代表取締役が決定する。組織図を次の通りとする。



# 内部統制システム

## 1. 取締役・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社は法令および定款を遵守する指針として基本規則、社内規則、就業規則について、実情に対処すべき見直しを随時おこない、周知徹底しております。またコンプライアンス規則を制定し、コンプライアンスに関する状況を監督する体制を整えております。

## 2. 取締役の職務の執行に係わる情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係わる情報については、秘密情報管理規程に従い、各部門にて機密漏洩がないよう適切に保存・管理されています。

## 3. 損失の危険の管理に関する規定その他の体制

経営の重要事項は、取締役会、SD(システムデザイン)委員会、稟議制度、設計審査、生産準備会議等でリスクを審議、評価した上で意思決定をしており、損失の危険の事態が発生したならば、関係部署を含めた委員会を設置、これに対処しております。また不測事態対応規程、BCP（事業継続計画）を策定し、災害に対応する体制を整えております。

## 4. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれることを確保するための体制

取締役の効率的な職務遂行には定期的に行なわれる取締役会がこれに該当します。なお、取締役会は経営の環境変化に対応できるよう必要に応じて臨時に取締役会を開催します。また、監査役はプロジェクトチーム会議等に出席し、職務遂行の効率化を図っております。

## 5. 当社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

企業集団における業務の適正を確保するために、「クラベグループ行動規範」を策定し、海外子会社については委員会を設け問題の解決を図るべき対処を決定しております。その際、支援が必要と思われる件については海外出張を含め適時対応しております。

## 6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する体制

監査役は、監査内容によって、あるいは監査役が求めた場合にその部署で協力すべき担当者を置く体制になっております。

# 内部統制システム

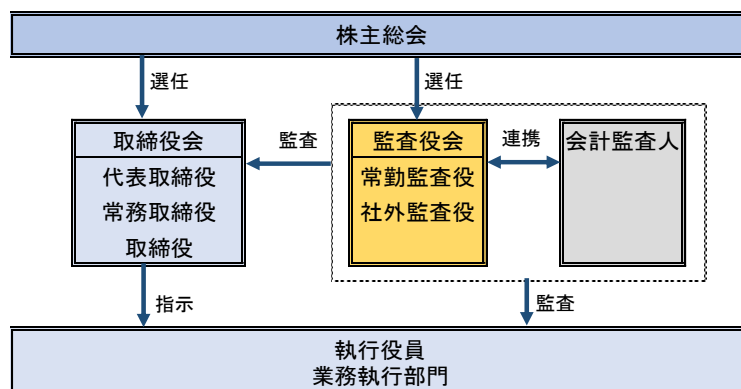
## 7. 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役および使用人は、監査役または監査役会に対して法令違反および会社に著しく損害を及ぼす恐れのある事項については、その内容を速やかに報告しております。

## 8. その他監査役の監査が実効的に行なわれることを確保するための体制について

監査役は、職務遂行のため取締役会に出席し、必要に応じて開催されるSD(システムデザイン)委員会に出席しております。また、監査が実効的に行なわれるために会計監査人等と緊密な連携を保ちながら情報・意見交換をおこない、監査では必要な稟議書の閲覧、文書の提出を要求し関係者から説明を求め監査を実施しております。

### コーポレートガバナンス体制



# 次世代育成支援活動

## 1. 一般事業主行動計画の策定について

次世代育成支援対策法では、事業主が次世代育成支援を進めて行くこととされています。当社では、仕事と子育ての両立を図るために必要な雇用環境の整備等をすすめるための「一般事業主行動計画」を策定し、今般下記のとおり公表いたします。

## 2. 計画期間

2025年4月1日～2030年3月31日

## 3. 目標

目標1：男性労働者の育児休業等と育児目的休暇の取得割合80%を目標に管理職の研修を行う。

### 【対策】

2025年4月 ～ 実態把握。

2025年10月～ 管理職を対象とした研修を実施。

2028年3月 ～ 積立有給休暇の育児目的使用を検討。

目標2：多様な働き方の選択肢を拡大するための時間有給制度の使用日数の拡大をする。

### 【対策】

2025年4月 ～ 時間有給休暇の使用状況の実態調査。

2029年3月 ～ 時間有給使用日数の拡大検討。

目標3：労働者が孫の育児のための休暇を取得できる制度を導入する。

### 【対策】

2029年12月 ～ 就業規則の改訂。

2030年3月 ～ 従業員への社内周知。



# 2025年活動報告



篠原工場

# お客様に対して



## 地産地消体制の確立

グローバル対応を強化すべく、BCPとしてベトナム以外の地域で生産対応を整える為、フィリピンに工場を設立し、量産を開始しました。

### KURABE INDUSTRIAL PHILIPPINES INC.

フィリピン バタンガス州 リパ市

2022年7月6日 設立

2024年12月 工場完成

2025年11月 量産開始

生産品目：カーシートヒーター



## ベトナム工場の新棟設立

### KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO., LTD. VSIP2 FACTORY

2025年11月 工場完成

ベトナムホーチミン第2工場に第2棟を新設しました。

生産キャパシティを拡大し、効率的な生産体制と安定した供給を実現いたします。



## 東日本営業所の新設

東京営業所と関東営業所を統合し、埼玉県川口市に東日本営業所を新設しました。

拠点の集約により、組織間の連携強化と業務の効率化を図るとともに、従業員の働きやすい環境づくりを推進しています。

今後も地域に根ざした事業活動を通じ、持続可能な企業価値の向上を目指してまいります。



# お客様に対して



## 篠原工場の新築

従業員に安全・安心に働いていただくとともに、安定供給のため、築60年以上の古い棟を取り壊して、新棟を建築しました。

地域貢献の一環として、新棟2階部分に地域住民向けの一時避難場所を整備しています。

今後も、持続可能な生産体制の高度化を進めるとともに、安定供給を通じてお客様との長期的な信頼関係の構築に努めてまいります。



## I-RECの取得

I-RECとは、再生可能エネルギーによって発電された電力であることを証明する国際的な環境価値証書です。

当社のベトナム工場はI-RECを活用することで、温室効果ガスによる地球温暖化に対する取組みとして、CO<sub>2</sub>排出量（Scope1,2）の削減を実施しております。

カーボンニュートラル取組みの一環としてScope1,2,3の可視化とCO<sub>2</sub>排出量削減活動から、お客様の信頼向上に繋がっています。

## 導入工場

KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO., LTD.

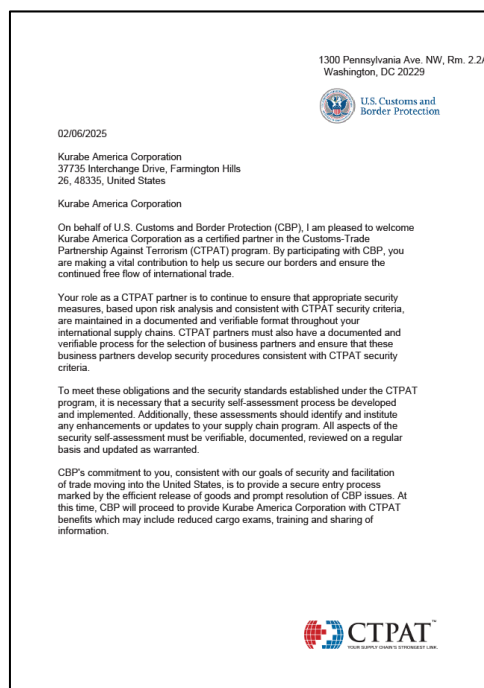


## C-TPATの導入

C-TPAT（Customs-Trade Partnership Against Terrorism）は、米国の税関・国境保護局が推進する貿易セキュリティプログラムで、当社は2025年に認証書を取得いたしました。

導入により、通関遅延リスクの低減、国境混乱時における供給安定性向上、グローバル顧客への信頼性向上に繋がっています。

今後も製造拠点から出荷に至るまでのプロセスを対象に、物理的セキュリティ管理の強化、貨物トレーサビリティの可視化、グループ会社の評価および監査の実施、従業員教育の体系化を推進し、国際基準に整合した管理体制を構築していきます。



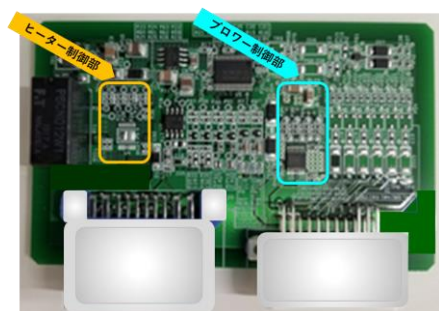
## HOD対応ステアリングヒーターの開発

自動運転機能の向上とともに、ステアリングに装着されるHOD(**Hands Off Detection**)の方式も静電容量方式に移行されつつあります。当社従来製品であります、ステアリングヒーターマットに静電容量検出層を設けた一体マットを開発しました。従来品よりも簡易な構成で運転者の採暖とHOD対応が可能です。



## カーシートヒーター用新規ECUの開発

1種類の基板でシートヒーター用、ベンチレーション用ECUを実現、基板設計する際、シートヒーター制御部とベンチレーションブLOWER制御部の回路を同時搭載。機能制御するマイコンは共通部品であり、ヒーター用とベンチレーション用の各ソフトウェアを準備し1種類の基板で2製品の制御を実現することで、基板材料とケースを共通化しました。



※写真の基板Assyはベンチレーション用ヒーター制御回路部品は未実装

## 細径高温ヒーター線の開発

シートヒーターの座り心地向上・発熱容量UPに対応した、細径高温のヒーター線を開発し新たなラインナップに加えました。高性能・ラグジュアリー化が進むカーシートニーズに応えたヒーター提案が可能となりました。



基材溶着状態

## 環境対応電線の開発

・イーグル電線PEX-150Fについて架橋方法を従来の化学架橋から電子線架橋にすることで、生産時の電力消費量の削減=CO2削減につながりました。

・有機フッ素化合物 (PFAS) を使わない、高温・耐油霧困気下の過酷な使用環境下でも使用されるフッ素樹脂電線の代替としてPEEK電線が提案可能となりました。

・車載ランプ用電線として要求のある低アウトガスを達成したイーグル電線PEX-NHを開発しました。昨今の高リスク材料であるアンチモンフリーで自動車用電線の難燃性要求を満たしています。



## 【背景】

近年、夏季の気温上昇に伴い、全国的に熱中症リスクが高まっています。とくに、屋外での荷業や待機時間が発生する物流ドライバーは、熱中症にかかる危険性が高く、社会的にも対策の重要性が高まっています。2024年以降、熱中症対策に関する法律・ガイドラインが強化されており、企業には適切な環境整備が求められています。当社でも、安心して集荷業務に来ていただける境づくりをCSRの一環と捉え、熱中症対策の強化を行いました。

## 【取り組み内容】

### ・休憩スペースの新設

倉庫に集荷に来る運送会社のドライバーのために、エアコン設備がある倉庫内に休憩スペースを新たに設置しました。手洗い場所も開放し誰でも自由に利用できる環境としています。



休憩スペース



暑さ指数計と熱中症予防作業計画

### ・暑さ指数（WBGT）計の設置

熱中症リスクを客観的に把握できるよう、暑さ指数（WBGT）計を倉庫集荷場所に設置しWBGT値に応じて休憩指示や注意喚起ができる体制を整え、熱中症の未然防止につなげています。WBGT値が高い時は、ドライバーへの声掛けを強化し休憩スペースの利用を積極的に促す運用をしています。

## 【効果と今後の取り組み】

今回の対策により、ドライバーが安心して作業できる環境の整備が進んだほか、運送会社から好評をいただいています。今後も、熱中症を含む安全対策を継続的に見直し、物流に関わるすべての方々の健康を守る企業姿勢を維持していきます。

## 【まとめ】

今回の取り組みは、運送会社の方々と協力しながら持続可能な物流環境を目指す、当社CSR活動の一環です。

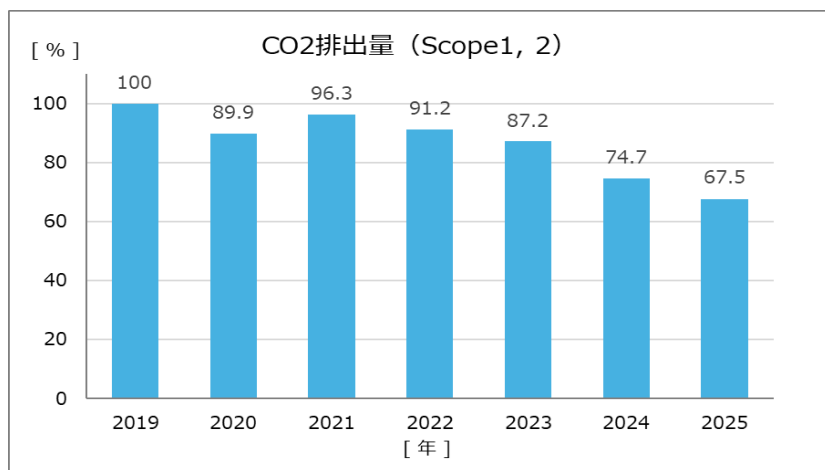
今後も、地域社会・パートナー企業とともに、安全で働きやすい環境づくりを推進していきます。

## 1. 当社の製品および事業活動における環境負荷低減活動報告

カーボンニュートラルに向けてCO2排出量の削減に取り組んでいます。

算出対象：国内全事業所

算出年 (各年1月～12月)	CO2排出量 [t-CO2]
2019	10941
2020	9835
2021	10535
2022	9980
2023	9536
2024	8176
2025	7383



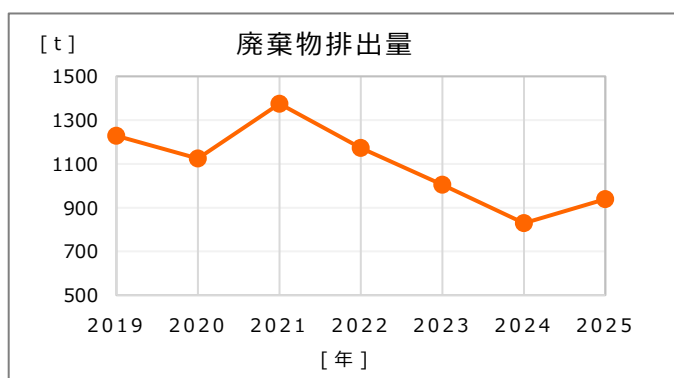
主な投資 2020年：蛍光灯からLED照明への切替開始  
2021年：製造拠点へ太陽光発電設備の導入開始  
2024年：静岡グリーンでんきの導入開始  
2025年：篠原・都田北工場へ太陽光発電設備の導入開始

## 2. 廃棄物排出量

廃棄物量を減らし環境影響低減に貢献しています。

算出対象：本社及び国内全工場

算出年 (各年1月～12月)	廃棄物 排出量 [t]	2019年比
2019	1228	-
2020	1125	8%減
2021	1375	12%増
2022	1173	5%減
2023	1004	19%減
2024	829	32%減
2025	939	24%減



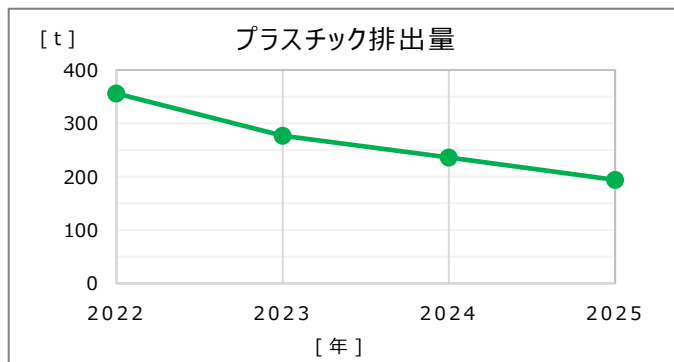
※2021年は都田北新工場移設に伴い微増  
※2025年は工場改革により廃棄物微増

## 3. プラスチック排出量

プラスチック資源循環促進法より、プラスチック排出量の削減に取り組んでいます。

算出対象：本社及び国内全工場

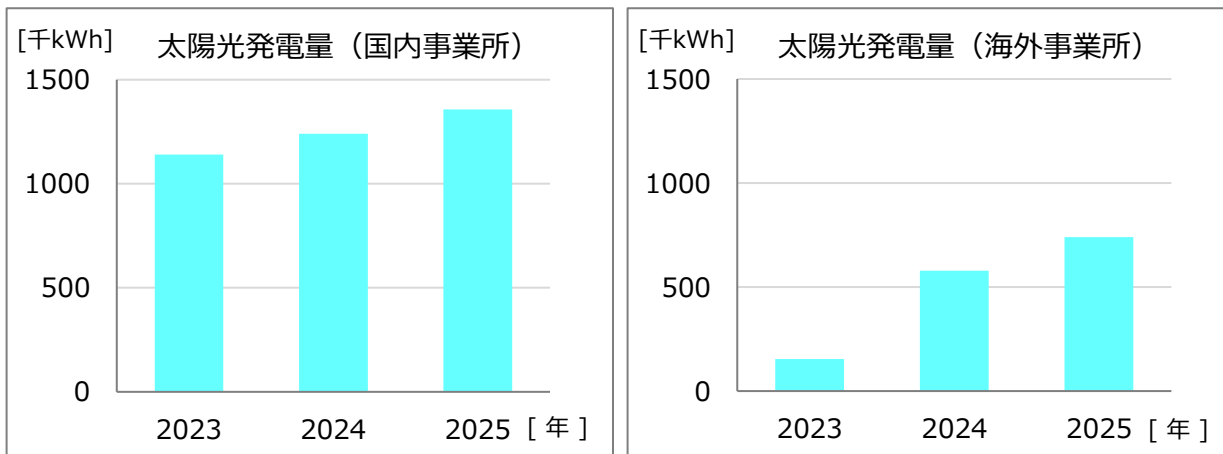
算出年 (各年1月～12月)	プラスチック廃棄物 [t]
2022	356
2023	277
2024	236
2025	194



プラスチック排出物の有価物化に取り組み、プラスチック廃棄量を年間250t以下にまで削減しました。

## 4. 大規模太陽光発電の稼働

国内事業所及び海外事業所で、太陽光発電を稼働しております。



	浜北工場	都田工場	都田北工場	合計
2023年	413,728	328,888	398,322	1,140,938
2024年	368,998	480,693	391,132	1,240,823
2025年	390,781	535,314	430,596	1,356,691

	KIS	KIH	合計
2023年	26,592	126,675	153,267
2024年	337,938	240,620	578,558
2025年	360,975	378,650	739,625

\*KIS: KURABE INDUSTRIAL (SHANGHAI) CO., LTD.

KIH: KURABE INDUSTRIAL(HUBEI) CO.,LTD.

2025年より、篠原工場、都田北工場（物流棟）、東日本営業所、名古屋営業所でも太陽光発電の稼働を開始しました。

篠原工場



都田北工場（物流棟）



## 人材育成のための教育の充実

従業員への階層別教育の実施や通信教育やeラーニングを活用して業務に必要なスキル、従業員個人が業務の為に取得・習得したいスキルにチャレンジ出来る環境を整えています。

イノベーションを起こす力を創出するために、従業員がチャレンジするための機会を積極的に提供しております。



## 篠原食堂リニューアル

老朽化していた篠原工場の食堂をリニューアルしました。

篠原工場では、ホットストッカーとコールドストッカーが導入されたことで、メニューに合った最適温度で提供されるようになりました。また、ご飯盛付機なども導入されたことで衛生面の強化や食品ロスを減らすための工夫もされています。



## 新作業服

新しいデザインは、新ロゴマークで使われている3色を使い紺色をベースに、濃緑色と緋色を差し色として配色したものとなっています。濃緑色は自然との調和、緋色はイノベーションへの情熱を表しています。また、緑と赤は船舶や航空機の航行灯の色でもあり、この航行灯は紺碧に広がる海洋や大空で安全を守る重要な役割を果たしています。同様に、私たちも多様な文化や市場において、信頼と安全をもって活動を広げていくことを目指しています。

機能性では、作業着としては珍しいドルマンスリーブを採用しました。肩部分に切替えしがないことにより腕を動かした際のツッパリ感をなくしています。さらにストレッチ生地を使用しており動きのストレスを軽減し作業効率の向上に繋がる機能性となっております。



## 労使関係

労働者の権利を尊重し、労使一体となった課題解決を重視しています。クラブ労働組合との間で労働協約を結び、高い信頼関係のうえで、解決すべき課題や会社の向かうべき方向について真摯に話し合い、良好な関係を築いています。また、従業員の健康安全や待遇に関して同組合と対話し、議論する場である「労使協議会」を開催しています。これらの活動を通じ、すべての従業員が働きやすい環境となるよう職場・制度改善に努めています。



## スポーツによる地域振興

浜松市周辺地域をホームタウンとする以下の4チームとパートナー契約を結んでいます。

- ・ジュビロ磐田(プロサッカーチーム)
- ・三遠ネオフェニックス (プロバスケットボールチーム)
- ・ブレス浜松 (プロ女子バレーボールチーム)
- ・静岡ブルーレヴズ (プロラグビーチーム)

各パートナー様からご提供頂ける観戦チケットを従業員に抽選で配布しており、福利厚生としても活用させて頂いております。

2025年はジュビロ磐田のルヴァンカッププレーオフラウンドに協賛し、「KURABEマッチ」の開催が実現しました。

展示ブースでは抽選会でジュビロ磐田のグッズを配布し、多くのサポーターの皆さんにご参加いただきました。

各パートナー契約チームが活躍できるように今後もパートナー企業として応援いたします。



## 従業員による交通安全運動

2025年12月には交通安全を呼びかけるのぼりを持ち、浜北工場と本社の周辺で交通安全運動を行いました。

通勤時間帯の安全意識の向上を促し、地域の交通事故防止に取り組みました。

## 地元自治会共同防災訓練

2025年9月に本社周辺の地元自治会と共同での防災訓練を昨年に引き続き、実施いたしました。

今回の防災訓練の内容は津波発生時の避難経路の確認や本社避難場所に加えて、非常食等の保管場所などの案内を行いました。

訓練後は保存食を地域住民の皆様にご配布いたしました。

今後も地元自治会と連携を取り、継続的に防災訓練を実施して、より多くの方に参加して頂けるように取り組んでいきたいと思っております。



## 都田北工場の屋根を活用した「遠州脱炭素プロジェクト」

～オフサイト型フィジカルPPAにより、地域の企業へ再エネ供給を開始～



### ■概要

都田北工場の屋根上スペースを活用した太陽光発電による電力供給サービス（オフサイト型フィジカルPPAサービス）を、中部電力ミライズ株式会社と連携し、2025年11月1日より開始いたしました。

本取り組みは、静岡県遠州地域に拠点を置く企業が連携して地域の脱炭素化を目指す「遠州脱炭素プロジェクト」の具体的な施策として実施するものです。当社で発電した再エネ電力を、自社のみならず、遠州脱炭素プロジェクト参加企業様へ供給いたしました。

当社は、2021年6月より都田北工場においてオンサイトPPAサービスを導入し、開発棟屋根上を活用して自家消費用の再エネ導入を進めてまいりました。

この度、同工場の物流棟屋根上にある未活用スペースを最大限に有効活用したいという当社の発案と、再エネ導入拡大を求める遠州脱炭素プロジェクト参加企業様のニーズを、中部電力ミライズ様がマッチングしたことで、企業の枠を超えた本プロジェクトが実現いたしました。

当社都田北工場（浜松市）の屋根上に、新たに太陽光パネル（出力：1,579.5kW）を増設しました。ここで発電される電力（年間約182万kWhを見込む）は、電力系統を経由して以下の3拠点へ供給されます。

供給先：

株式会社クラベ 浜北工場（静岡県浜松市）

遠州脱炭素プロジェクト参加企業様 2社



この仕組みにより、当社は自社資産の有効活用による脱炭素化を加速させるとともに、地域のパートナー企業の脱炭素化にも寄与いたします。

## CSR調達セルフアセスメント集計結果

2025年度に実施しました調査票につきまして、報告いたします。回答を頂きました仕入先様に対しては、御礼申し上げます。

### ◆ 仕入先対象数

51社（海外自動車関係主要取引先）

### ◆ 調査期間

2025年2月～2025年12月

### ◆ 調査項目（7分野40項目）

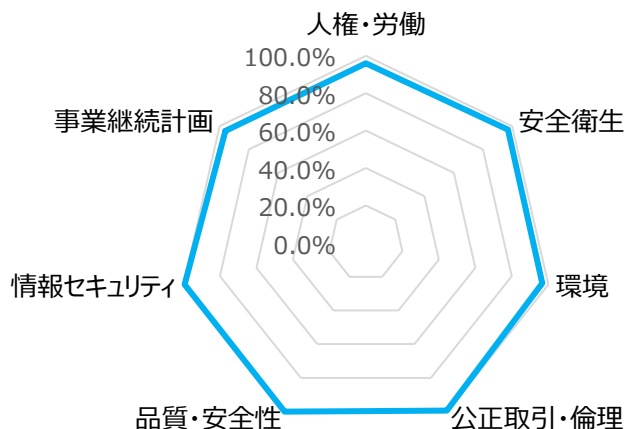
1. 人権労働 2. 安全衛生 3. 環境 4. 公正取引・倫理 5. 品質安全 6. 情報セキュリティ  
7. 事業継続計画

### ◆ 回答率100%

全ての仕入先様より回答を頂きました。

### ◆ 調査結果

## CSR調達セルフアセスメント調査結果



### 取引適正化の取り組み

当社は、下請法の改正による中小受託取引適正化法の施行に伴い、取引条件の適正化を図るため手形を廃止し、未締め翌月現金払に支払条件を変更いたしました。

この取り組みにより、取引先様の負担軽減と公正な取引関係のさらなる強化、持続可能なサプライチェーンの構築につながると期待されます。

当社は今後も、関係法令の遵守を徹底するとともに、企業としての社会的責任を果たすべく、サプライヤーの皆様と協働しながら、透明性の高い健全な取引環境づくりに継続して取り組んでまいります。